各機器の画像データ保存方法

～『FlashPath』をご利用の場合は～

漢字 Talk7.5.1 ～ Mac OS 9 用（Power Macintosh）

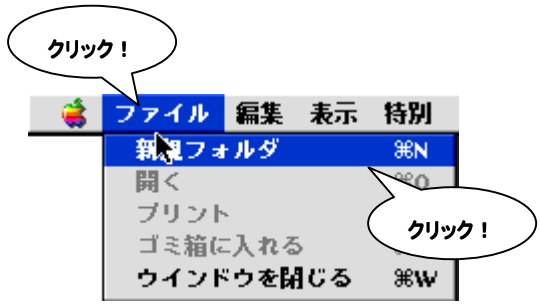
～保存先の作成～

まず、フラッシュパスを挿入する前に Mac 側に保存先を作成します。
「ディスクドライブ」の中にフォルダを作成し、そこに保存することにします。

今回は例として「MacOS8.5」という名前のついたドライブに保存することにします。
アイコンをダブルクリックして中を開きます。

※環境により名称は異なります。

左図のように、ドライブの中身が表示されます。



この状態で画面左上のメニューから、『ファイル』⇒『新規フォルダ』を選択します。

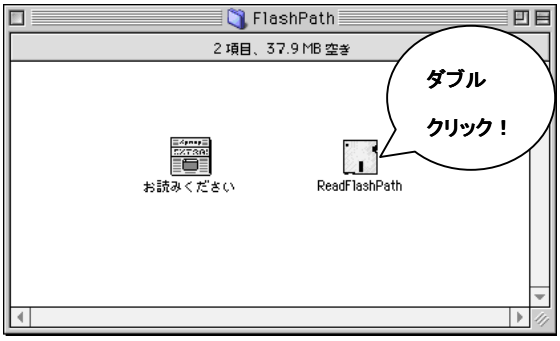
『名称未設定フォルダ』が新しく作成されます。

名称を分かり易く変更します。
今回は「Sample」という名前にします。

◎　以上で、保存先の準備ができました。

～FlashPath の挿入、画像データの転送～

まず、お持ちの Macintosh（以降 Mac）に FlashPath ドライバをインストールします。
インストール手順の詳細については FlashPath 付属の説明書をご参照ください。

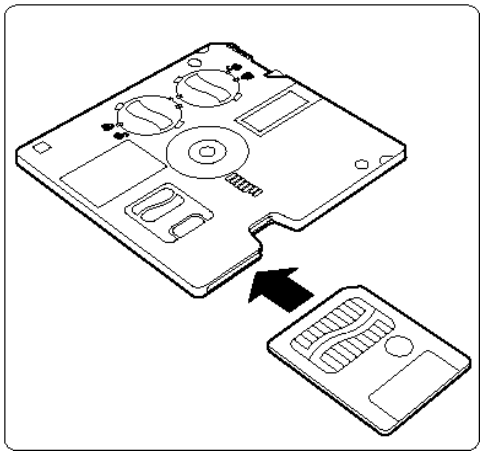


インストール先のフォルダを開きます。
ここで、“ReadFlashPath”という名称のアイコンがありますのでダブルクリックします。

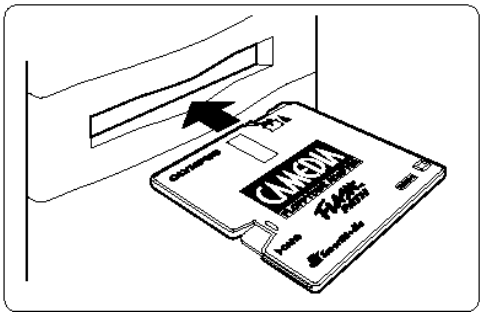
デスクトップ右上が「ReadFlashPath」になっていることを確認します。

メニューから、「ファイル」⇒「FlashPath から読み込み…」を選択します。

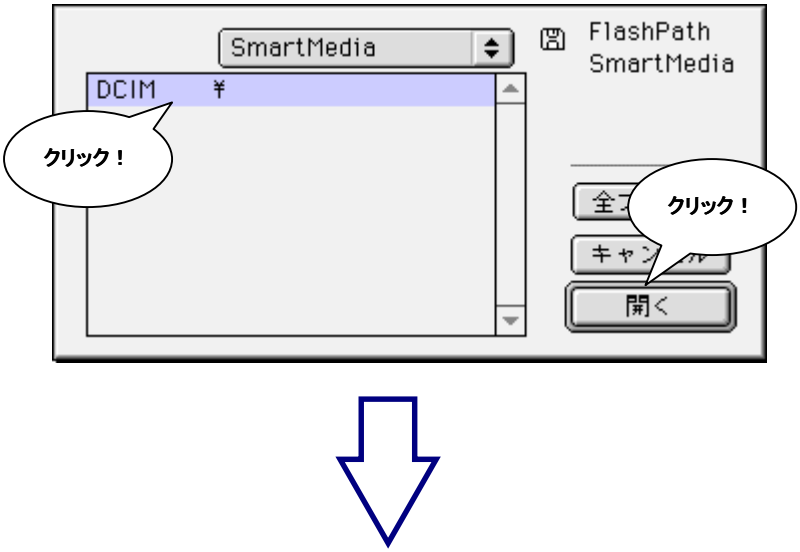
左のようなメッセージ画面が表示されますので、FlashPath を内蔵のフロッピーディスクドライブに挿入します。



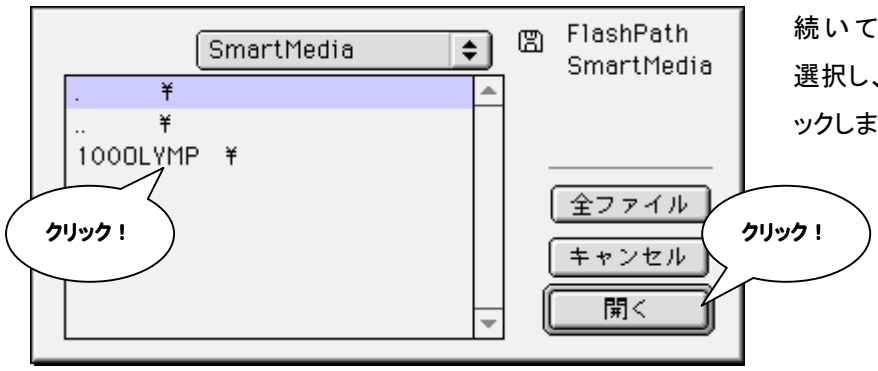
FlashPath にスマートメディアを取り付けます。この時、スマートメディアの向きに気をつけてください。



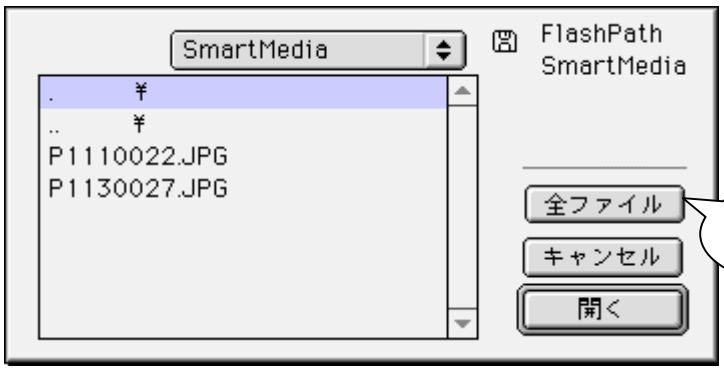
プリントされた文字が上になるように内蔵のフロッピーディスクドライブに挿入します。



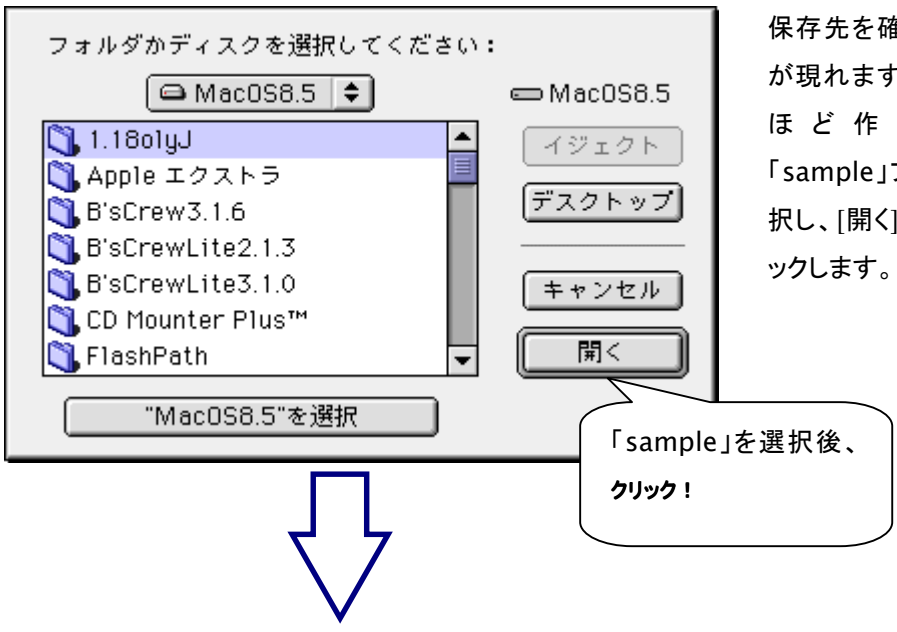
FlashPath 挿入後、下のような画面が表示されます。
[DCIM]を選択し、[開く]ボタンをクリックします。



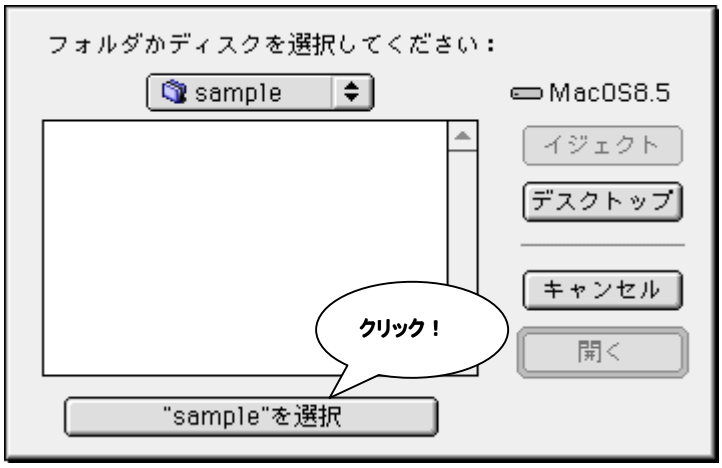
続いて、[100OLYMP]を選択し、[開く]ボタンをクリックします。



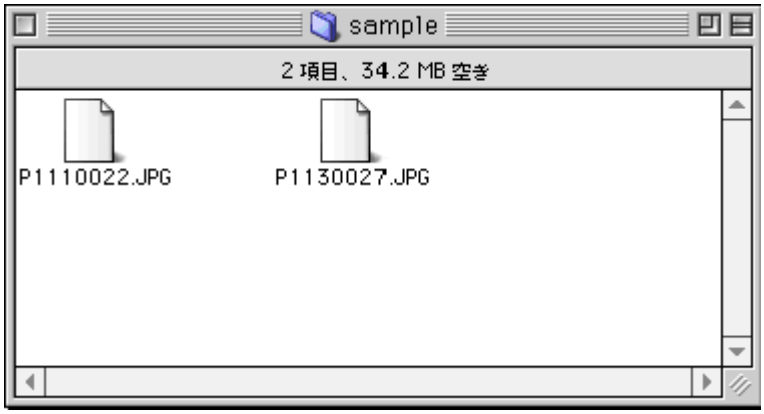
[全ファイル]ボタンをクリックします。



保存先を確認する画面が現れます。ここで、先ほど作成した、「sample」フォルダを選択し、[開く]ボタンをクリックします。



指定した後、下の方に["sample"を選択]ボタンがありますので、そこをクリックします。



FlashPath との通信が始まり、データが転送されます。
実際にフォルダを開いてファイルがコピーされているか確認してください。

◎　以上で画像ファイルを Mac 本体にコピーしました。

～『ストレージデバイス』をご利用の場合は～

～ストレージデバイスとは～

これから説明するストレージデバイスとは外部記憶装置のことです。
ここでは、

①、 USB ストレージカメラ　　※MacOS 8.6～9 対応
②、 MAUSB-2　　※MacOS 8.6～9 対応
③、 MA-2　　※スマートメディア 16MB まで ： 漢字 Talk 7.1 ～ MacOS7.6 以前
※スマートメディア 32MB 以上 ： MacOS 7.6～9

の 3 種類を指します。
（FlashPath については前述をご参照ください。また、CAMEDIA Master 2.5 は MacOS7.6 **以前のものには対応しておりませんのでご注意ください。**）

～ストレージデバイスの接続～

各ストレージデバイスの接続方法を示します。

①、 USB ストレージカメラの場合
USB ストレージカメラの種類は4ページ ***～取説早見表～*** をご参照ください。

以上のカメラは MacOS 9を使用している場合、USB 接続ケーブルをカメラとパソコン本体に接続するだけでリムーバブルデバイスとして認識します。

正常に認識されると、デスクトップ上に左のようなアイコンが表示されます。

MacOS 8.6 の場合、機能拡張に USB Mass Storage Support 1.3.5 がインストールされていない場合には認識ができません。インストールされていない場合は OS の販売元である米国 Apple 社様にお問い合わせいただくよう、お願いします。

②、 MAUSB-2 の場合

MAUSB-2 では、MacOS 8.6～9 で使用が可能となっておりますが、ドライバのインストールが必要です。

ドライバが正常にインストールされますと、デスクトップ上に左のようなアイコンが表示されます。
ドライバのインストール方法については別途、MAUSB-2 付属の資料をご参照下さい。

※スマートメディアの接触面は写真裏側です。
※スマートメディアの挿入向きにお気をつけください。逆向きに挿入しますと、機器の破損につながりますのでご注意下さい。

③、 MA-2 の場合

MA-2 はドライバのインストールは必要ありません。(OS 標準のプラグアンドプレイで認識されます。)

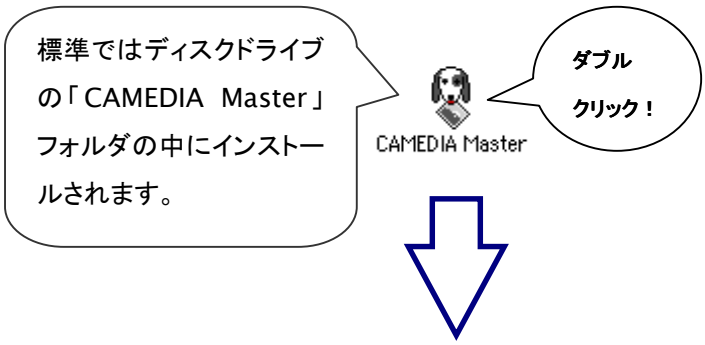
MA-2 では Mac 側には、PC スタンダード ATA 仕様に準拠した PC カード(PCMCIA)スロットもしくは外付けの PC カードドライブ(いずれも TypeII)が必要です。

挿入する向きに気をつけて挿入してください。

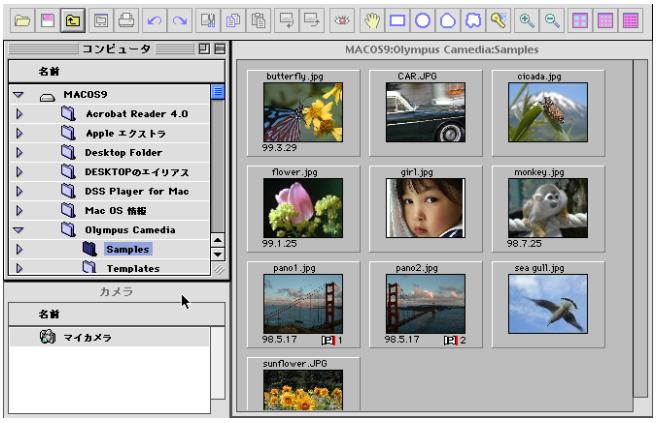
※ PC Exchange や PCMCIA をサポートするための「機能拡張ファイル」が必要です。詳しくは Macintosh 機の取扱説明書をご参照ください。

～画像の保存方法～

画像をデジタルカメラから Mac に取り込みます。まずは移動先のフォルダを作成します。
今回は、ディスクドライブに新しく「Sample」という名称でフォルダを作成します。

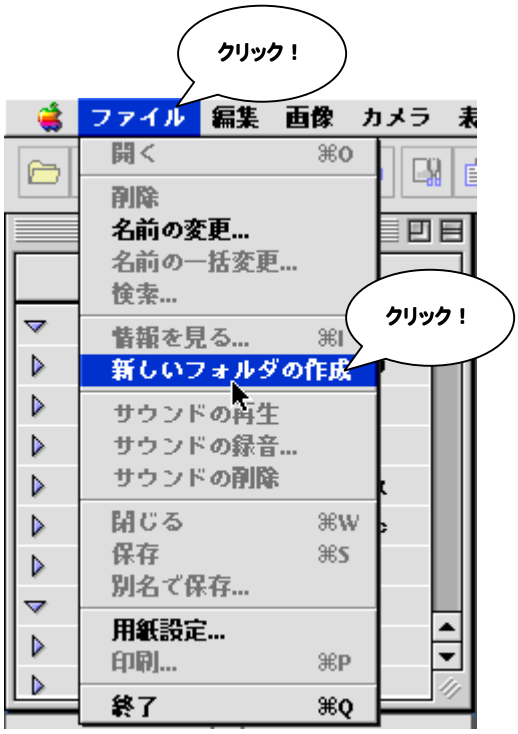


まず、CAMEDIA Master を起動します。
インストール先にある犬のマークのアイコンをダブルクリックします。



すると、左のようなウィンドウが開きます。
初回起動時には、弊社の用意したサンプル画像が開きます。

新しく保存先を作成します。
まず、画面左上にあるフォルダーツリーウィンドウから、保存先であるディスクドライブ（今回は MacOS9）をクリックし、選択します。



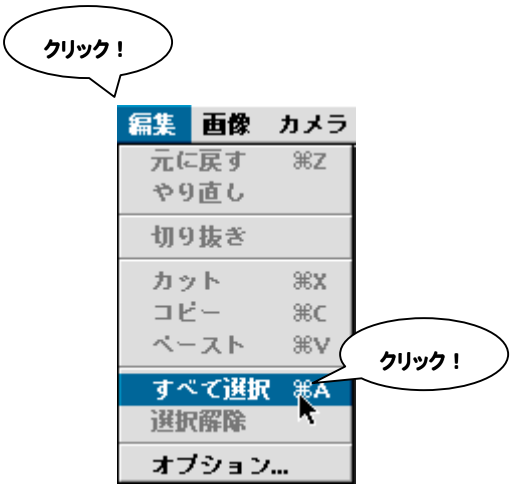
続いて、メニューから「ファイル」⇒「新しいフォルダの作成」の順でクリックしていきます。

「新しいフォルダの作成」ウィンドウが開きます。
名前の欄で自由に名前をつけることが可能ですが、今回は例として「sample」とします。

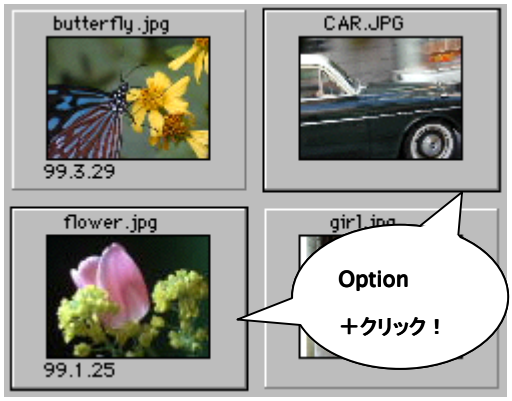
決定したら[OK]ボタンをクリックします。

次に、移動元のフォルダを開きます。写真データのあるリムーバブルディスクを開きます。

※ 各アイコンの表示は使用しているドライバにより変化しますのでご了承ください。

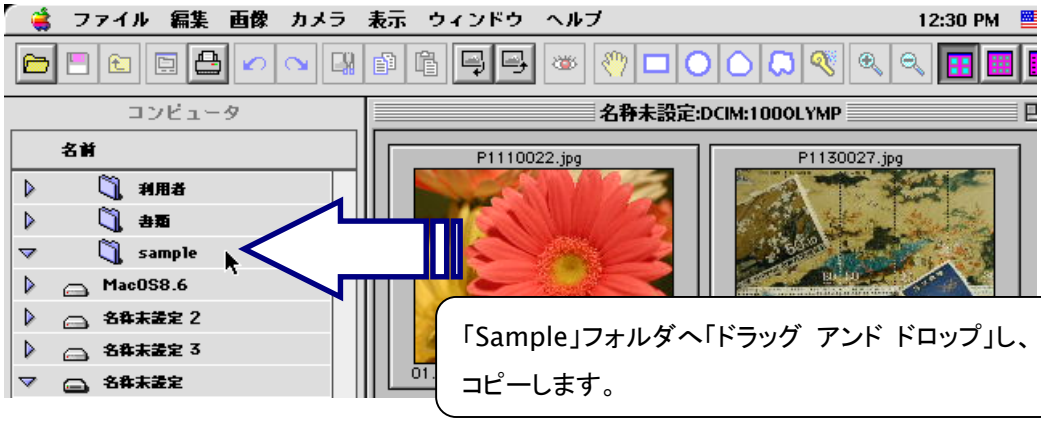


画像すべてをコピーさせる場合、[編集]メニューの[すべてを選択]をクリックします。
すると、選択されたすべての画像ファイルに黒枠が表示されます。



キーボードの[Option]キーを**押しながら**マウスでクリックしていきますと、ファイルを必要なものだけ選択できます。
必要なファイルだけコピーしたい場合、ご活用下さい。

選択したファイルを先程作成したフォルダにコピーします。



無事コピーされていることを確認するために「Sample」フォルダをクリックして開きます。

◎これで Mac 本体への画像の保存は終了しました。

～『シリアル接続カメラ、USB 非ストレージクラスカメラ』をご利用の場合は～

～非ストレージカメラの種類～

非ストレージカメラは大きく分けて2種類あります。

①、 USB 非ストレージカメラ　　※MacOS 8.6～9　対応

②、 シリアル接続カメラ　　※MacOS 7.6.1～9 対応

これらのカメラは、ただケーブルを接続しただけでは画像ファイルのアップロード、ダウンロードが出来ません。

CAMEDIA Master を使用し、ファイルのアップロード、ダウンロードを行ってください。

接続方法の詳細については各デジタルカメラ付属の説明書、または、接続キット付属のマニュアルをご参照下さい。

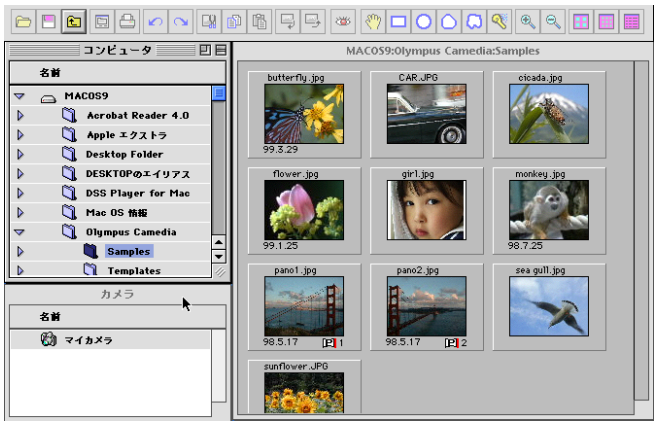
左の C-3030ZOOM の例では、カメラ左側に接続用コネクタがあります。

カメラにより接続する場所は異なりますのでご注意下さい。

～画像の保存方法～

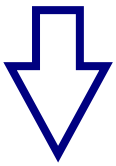
画像をデジタルカメラから Mac 本体に取り込みます。まずは移動先のフォルダを作成します。
今回は、「ディスクドライブ」内に新しく「Sample」という名称でフォルダを作成します。

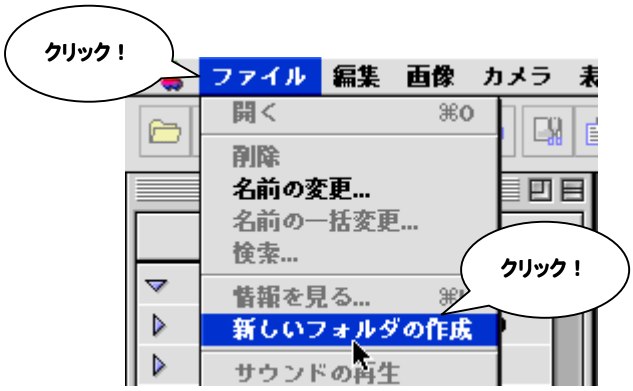
まず、CAMEDIA Master を起動します。
インストール先にある犬のマークのアイコンをダブルクリックします。



すると、左のようなウィンドウが開きます。
初回起動時には、弊社の用意したサンプル画像が開きます。

保存先を作成します。
画面左側にあるディスクドライブをクリックし選択します。



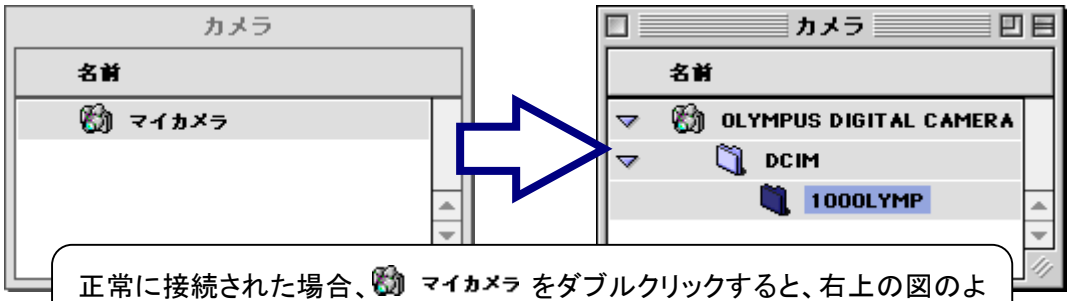


次に、メニューから「ファイル」を選択し、「新しいフォルダの作成」をクリックします。

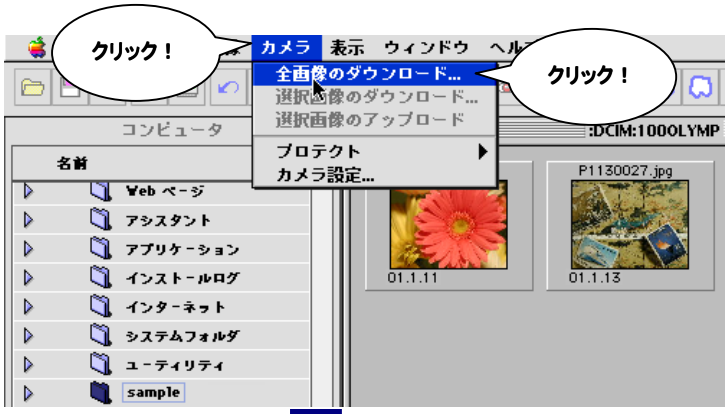
「新しいフォルダの作成」ウィンドウが表示されます。適当な名前に変更して[OK]ボタンをクリックします。

今回は例として「Sample」としましたが、お好みの名前をお付け下さい。

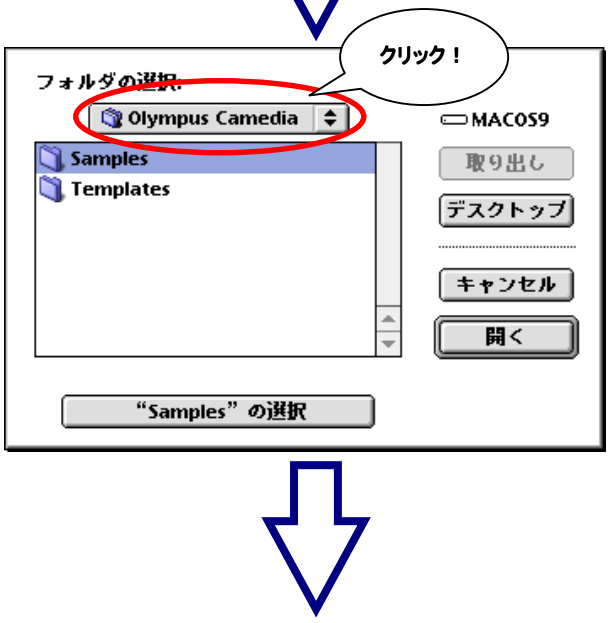
続いて、カメラ内のデータを Mac に保存します。カメラと Mac を接続し電源を入れます。
シリアル接続の場合、多少時間がかかりますのでご注意下さい。



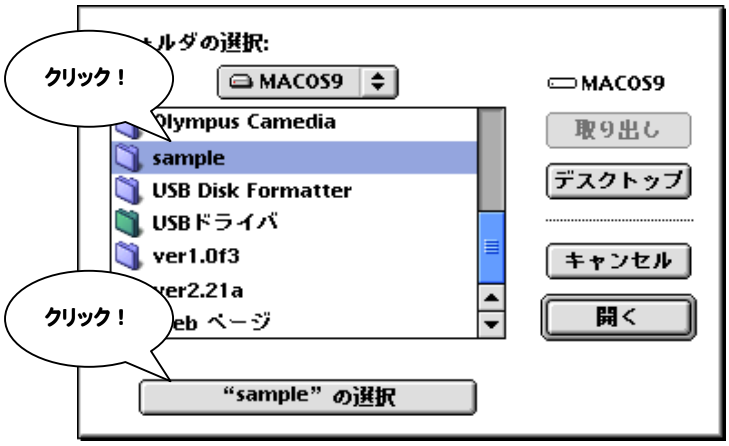
正常に接続された場合、マイカメラ をダブルクリックすると、右上の図のように開いて行き、縮小表示された画像が表示されます。



カメラの画像データをパソコン本体に保存します。
メニューの「カメラ」から「全画像のダウンロード」を選択します。



フォルダの選択画面が表示されます。
ここで、○で囲まれた部分をクリックし、ディスクドライブ（今回はMACOS9）を指定した後、先程作成した「sample」フォルダを選択します。



「sample」を指定した後、[“sample”の選択]ボタンをクリックすると、ダウンロードが開始されます。
この作業で「sample」フォルダに画像データがコピーされます。

◎これで Mac 本体への画像の保存は終了しました。